

I. 審議事項

第1号議案 2024年度事業報告承認の件

2024（令和6）年度事業報告（総括）

2024年度は、年度制・短期・懷徳堂記念会協力講座・オンライン講座・公開文化講座を1,084名でスタートし、10月から公開講座37名を加え全27学科の講座を実施しました。

学科増に伴いクラスアドバイザー（CA）他スタッフを増員しました。理事とCA他の意思疎通を図るため外部講師を招いて1日（終日）の合同研修会を実施しました。

併せて次年度CA及び現CAのフォローアップ研修や他学科への研修制度を利用して積極的に自己研鑽に努めてもらいました。また、年度制講座の充実を図るため、午後の活動（仲間づくり）に対して各科に補助金を拠出し効果的に活用されました。

年度末に念願の自前教室を借用出来たことで、25年度に向けての準備が整いました。

総括部門では、インボイス制度の導入に伴い講師用の資料作成・部内手順の見直しにより円滑処理することが出来ました。

また、条例指定NPO法人の更新(令和6年11月)・認定NPO法人の更新(令和7年2月)が承認され、引き続き今後5年間は延長となり、より一層他団体との共同事業を推進していきます。

活動事業報告（総括）

- 1 条例指定NPO法人・認定NPO法人の更新申請が無事終了し継続認証されました。
- 2 各部・各部門間の意思疎通を迅速にして組織の活性化を図るため、CA・理事研修では、部門・部での活動内容をCAに紹介し理解を深める努力をしました。
- 3 講座運営部門は異常気象で「大雨警報・台風・熱中症」等に見舞われましたが予定通り講座運営することが出来ました。
- 4 地域推進部門は渉外部・広報部の情報を得て大阪北部の各行政（茨木市・豊中市・吹田市他）の行事に積極的に参加し、社会貢献活動やONCCの知名度を高めるように努めました。
 - (1) 3年間継続していたキッズベンチャー講座は参加者が集まらず止む無く中止としましたが子ども夢基金を受託し「夏休み子どもものづくり体験教室」を実施しました。
 - (2) 地域活動推進部では、従来活動・子ども事業活動・他団体（NOC S）との事業を充実させ、アクティブシニアをめざす科で障がい者支援（車いす・視覚障がい者サポート）の指導を行い受講生との交流を図り人材発掘に繋げました。
 - (3) 広報部では、外部に委託すること無く内部での作成管理に努め、ホームページのスマホ対応やフェイスブック・ONCCニュースを通してより良い情報提供に努めました。
 - (4) 渉外部では、教室確保の進捗状況を分かりやすくためファイルを一本化しました。
- 5 IT情報・新規事業部門では、人材の確保を最重点に課題に取り組みました。
 - (1) IT情報部では、リアルタイムに情報のみえる化のため新システム導入し、受講生管理やセキュリティの強化に努めました。
 - (2) 新規事業開発では、人材確保が進まずシニアハウスの出前講座のみに留まりました。
- 6 募集委員会では受講生の意向を反映させるべく募集要項のデザイン・内容を刷新しました。
- 7 講座企画委員会では年度制講座の午後の授業充実を検討・スケジュールの見直しを図りました。
- 8 中期計画委員会で自前教室確保が長年の課題でしたが、情報の収集に努め自前教室の確保が出来ました。